

子育て環境整備と、

活力に満ちた町づくりのために…



一般会計予算24億6,800万円の予算を計上

平成25年度当初予算が3月定例議会会で可決されました。一般会計の予算総額は、24億6,800万円で前年度に対して9,900万円、4.2%の増額となりました。

財源不足となる9,950万円は町の貯金である財政調整基金から繰り入れ事業を実施します。

特別会計の予算総額は、3会計合わせて12億4,910万円で前年度に対して1,370万円、1.1%の増となりました。

公営企業会計である水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政状況は、主要財源である町税の大きな伸びが見込めない一方で、道の駅建設事業や神宿浄水場移転改築事業、社会保障関係経費の自然増などにより構造的に極めて厳しい状況にあります。

平成25年度は、保育料の3人目無料化の拡充等、子育てにやさしいまちづくりを推進する一方、震災からの完全復興、道の駅建設による地域産業の発展を重点事業とする予算編成となりました。

歳入

歳入の主なものとしては、町税が住民税の増等により6億8,906万1千円で前年度比2.4%、約1,600万円の増となりました。

地方交付税は普通交付税の減等により1,975万1千円減の8億7,984万9千円を見込みました。この二つで歳入全体の63.6

%を占めています。国県支出金は2億8,937万7千円で、社会資本整備総合交付金等により3,925万3千円の増となりました。

繰入金は、財政調整基金からの繰入の増により、73.5%増の1億9,87万4千円、町債は、防災行政無線のデジタル化事業、消防ポンプ積載車の更新、臨時財政対策債の借り入れで合わせて2億4,000万円です。

歳出

本年度の主要事業は、防災行政無線のデジタル化事業、(仮)こうさき道の駅建設関連事業、神宿浄水場移転改築事業等で、投資的経費として3億3,755万2千円を計上しました。

また、保育所園児の給食費相当額の助成、小・中学生の給食費2分の1の助成事業を継続し、保育料の3人目無料化の条件拡充を実施します。

その他の重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。

町債の借入残高は平成24年度末で約23億9,779



万5千円、4.5%減となり、町民一人当たりになると約36万円となりました。また、繰越事業については、道の駅整備事業をはじめ9事業あり総額1億3,963万2千円です。

特別会計			水道事業会計			
国民健康保険	7億6,700万円	2.0%	収益的	収入	1億4,944万4千円	△5.4%
後期高齢者医療	5,840万円	△3.5%		支出	1億2,926万5千円	△3.0%
介護保険	4億2,370万円	0.2%	資本的	収入	7億4,160万7千円	741.9%
合計	12億4,910万円	1.1%		支出	7億9,702万8千円	470.5%